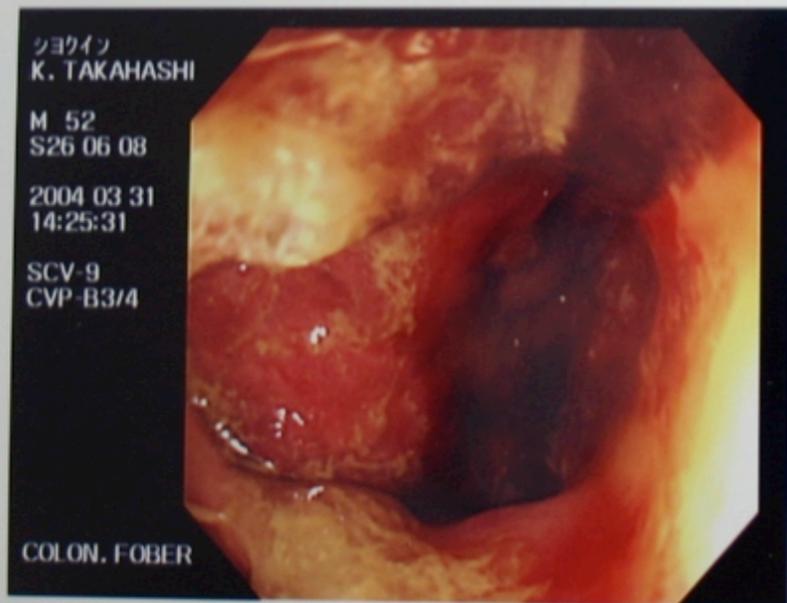
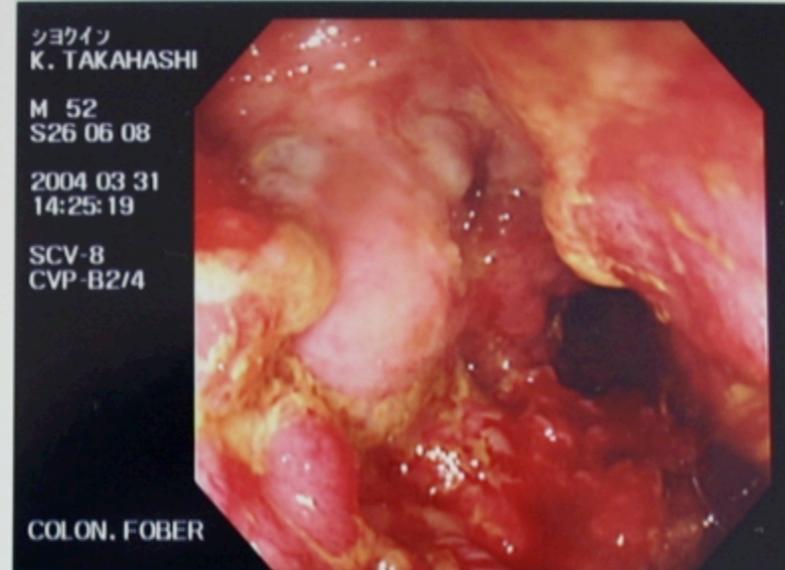
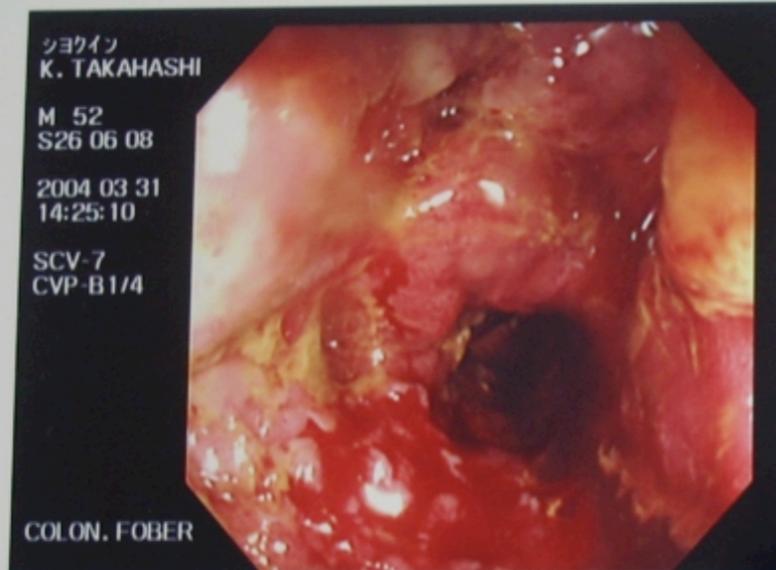


個人的近況

- 2004年3月31日、直腸癌判明
- 2004年4月15日 Milesオペで人工肛門
- 2004年5月6日から職場復帰

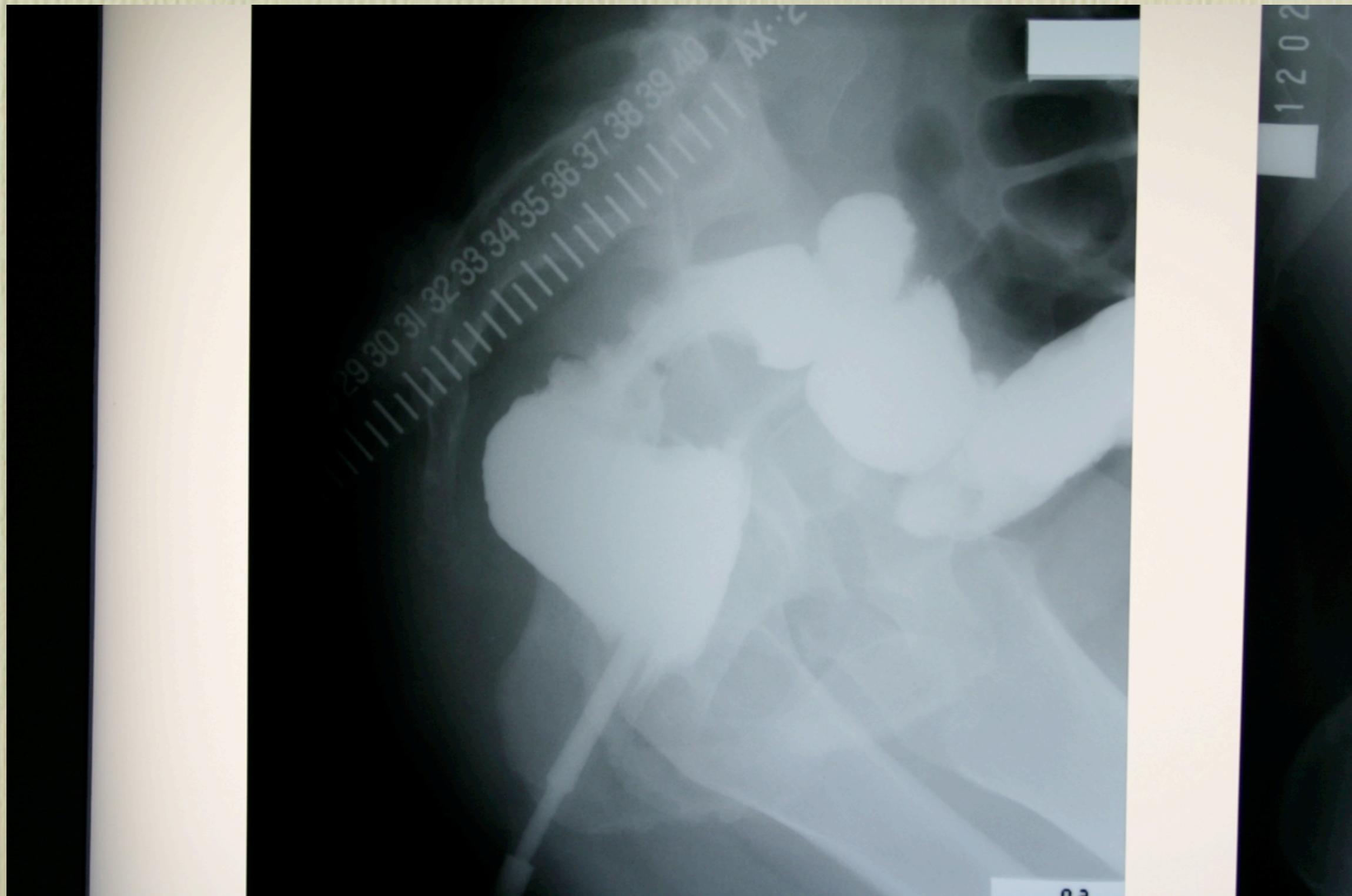
3月31日の内視鏡



2/3

16. 3. 31 高橋 宏

教科書にのせたいような Apple Core Sign



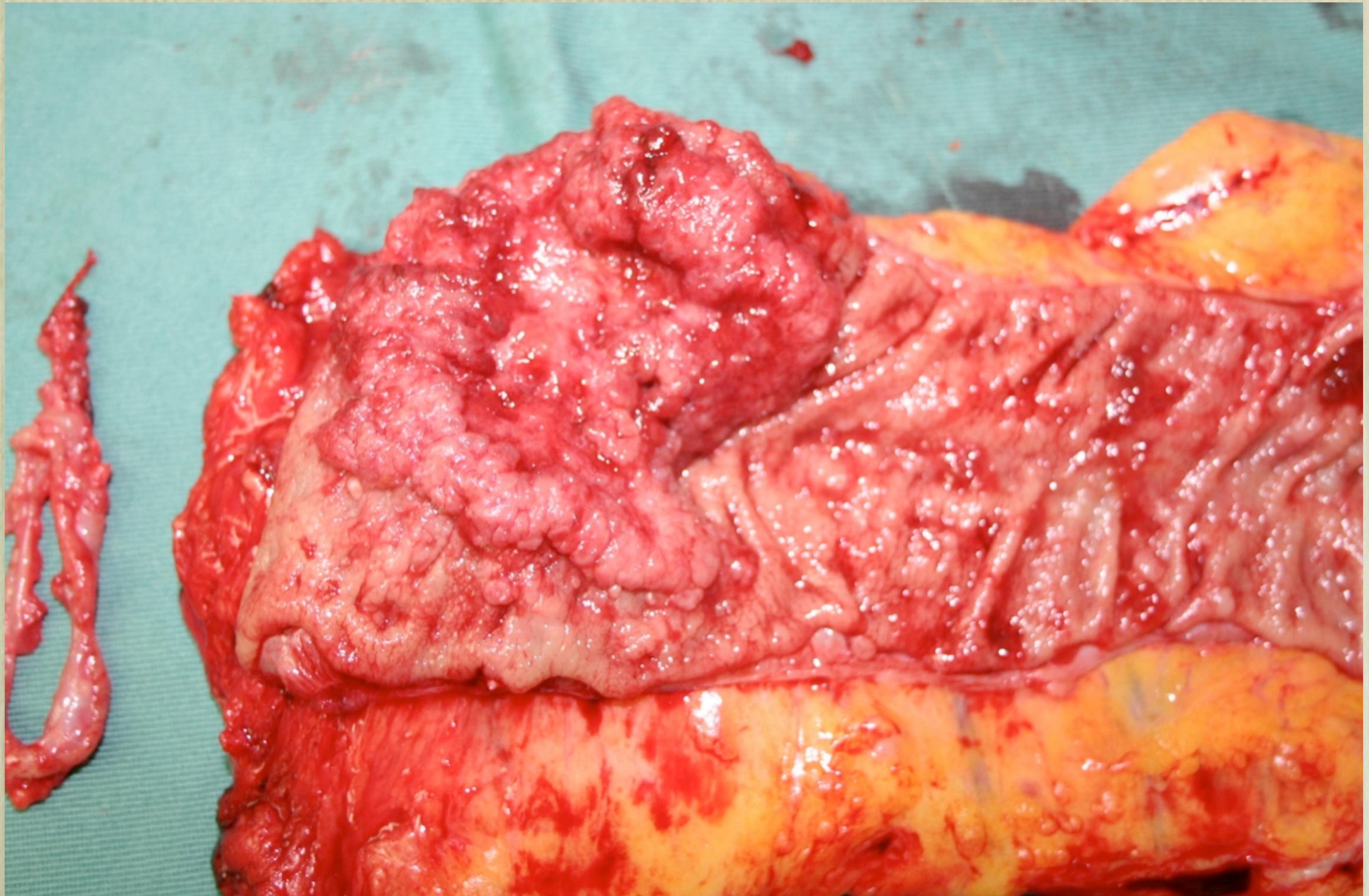
32年ぶりにヒゲをそり
手術室へ



麻酔がきかかり



摘出された見事な？癌
結果は悪運のStage II



というわけでした。



いつでもどこでも、
一生？使える
電子カルテ

電子カルテの新しいパラダイム、原点に立ち
戻って、電子カルテのあり方を考える

有限会社 キワム 電脳工務店

高橋 究

あなたのノートPCは？

- 自分のスタイルにカスタマイズしてますよね
- 他人のコンピュータって使えますか？
- ノートPCの買い換えの時って大変ですよ
1日以上かけて自分の環境作っていませんか？

あなたのメールは？

- あなたのメールソフトは？
- どこに行っても読み書き出来ますよね。
- 移動場所によってネットワークの太さが違うだけだよね。
- あなたの使いやすい環境にしてありますよね

PC お仕着せで使えます？

- OSの好み
- FEPのチューニング
- 画面のみてくれ、などなど....
- 中にはそのままです使える人もいるでしょうね

電子カルテも同じ環境が欲しい

- 使い続けられる電子カルテ
- 違う職場でも使える電子カルテ
- 学生時代から使える電子カルテ
- ネットワークに繋がれば使える電子カルテ
- もちろん、自分の環境で使える電子カルテ

電子カルテ使いこなすのは

- 何とか使うのは1日で出来る
- でも使いこなすのは?
 - 色々出来るシステムは設定する項目も多くて大変
 - 作り上げた環境をもう一度作るのは大変

MML-ECAPI

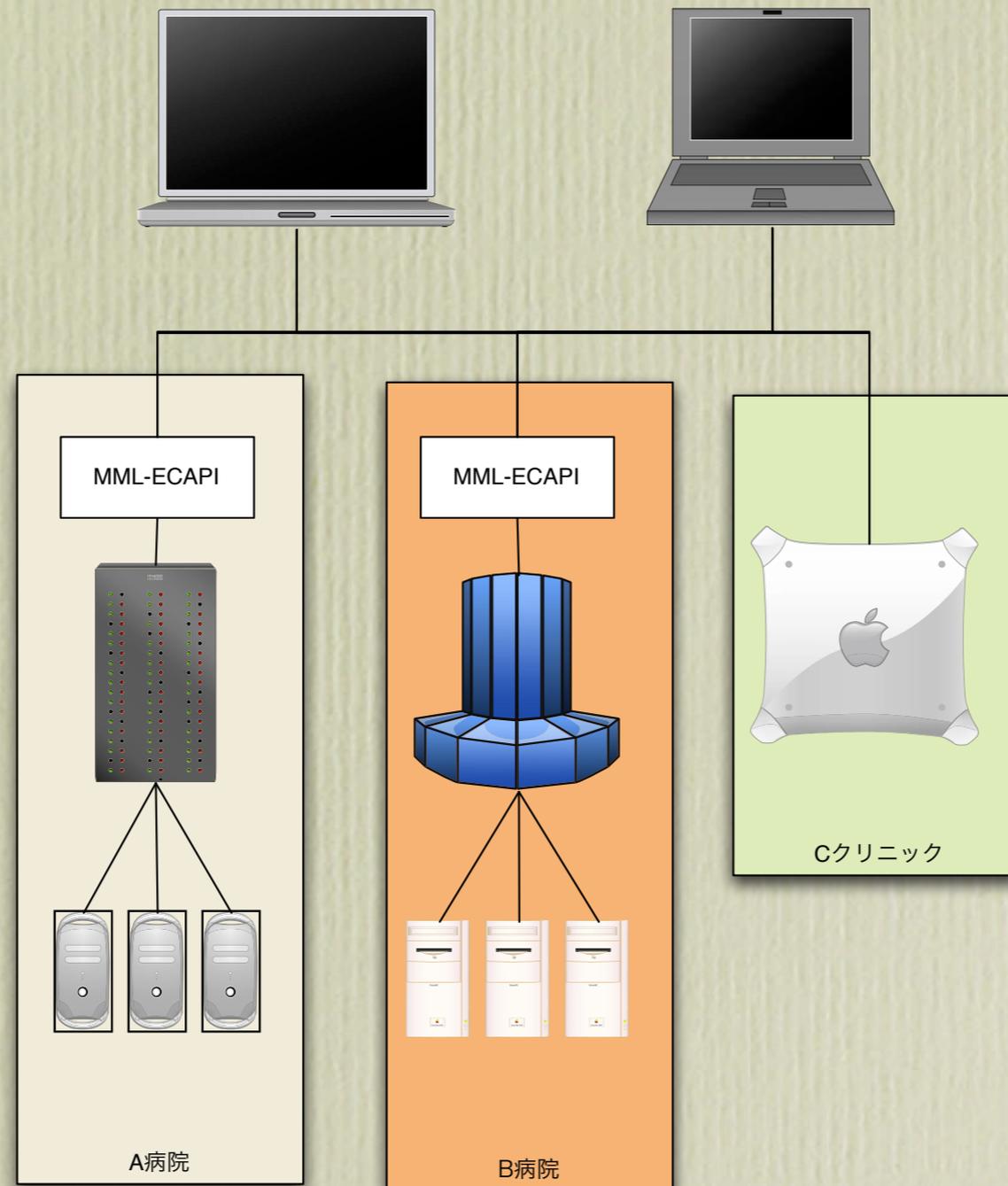
電子カルテインタフェース

- 電子カルテ<->ローカル電子カルテサーバ
- 電子カルテ運用に必要な機能を提供
 - 受付状況リスト
 - 患者検索
 - 各種ドキュメントの受け渡し

MML-ECAPI

電子カルテの概念

MML-ECAPI対応電子カルテ



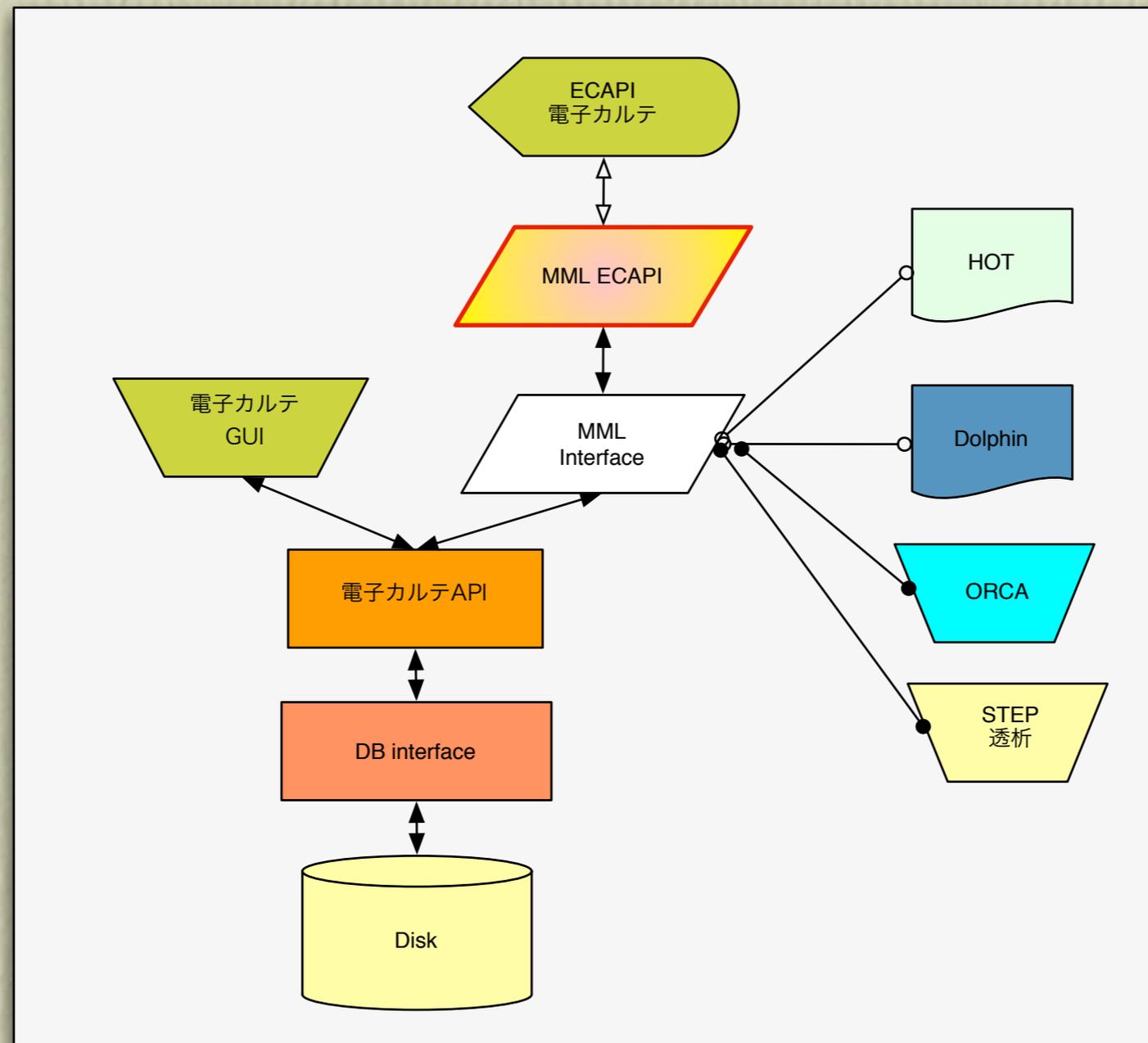
MML-ECAPI によって

- ユーザの使い慣れた電子カルテを使用してどこでも仕事ができる
- ユーザによって異なる電子カルテが使われていても同じ職場で仕事ができる

MedXML次期プロジェクトに

- MML-ECAPIの仕様を検討
- XMLのインターフェースでまず開発
- 現在のMMLで使用可能なものはそのまま使う
- 非ドキュメントの問い合わせ機能の追加

フレームワーク構造



電子カルテ自慢

● バイトで来たDr.A, 常勤医B

B: あれ、かっこいい電子カルテ使っているじゃない！

A: WINE STYLEのMMLカルテなんですよ。大学でもMML-ECAPI採用しているのだから前から使っているんです。この病院もMML-ECAPIと聞いて繋いでみましたがバッチリですね。

B: うちのカルテとだいぶ違うね。

A: ええ、でもここのカルテで記載した内容も普通に見られますし、これで作製したデータも問題なくデータしまえてますよ。私個人用にいつもチューニングしてある環境が他の病院でも使えてとてもストレスがありませんよ。

B: そうだろうねえ。新しいソフトに慣れるのって大変だからね。同じ結果にたどり着くのにソフトによって全然違うからね。

A: 臨時でバイトに来ても、新しい電子カルテ使うストレスないので患者さんとの話に集中できます。